幅広も可能な2ミリ単板好評

時代に合った床材提供継続

ウッズ・マイスター

ウッズ・マイスター（東京都、二木浩一郎社長）は、ムクフローリングだけでなく、資源背景なども考慮して複合フローリング商品も幅広くそろえている。

同社は7月に新カタログを発行し、商品ラインアップを強化した。また、依頼に対し、サンプルが足りなければ、自社でカットサンプルを作るなど、サンプルを迅速に提供する体制も整えている。

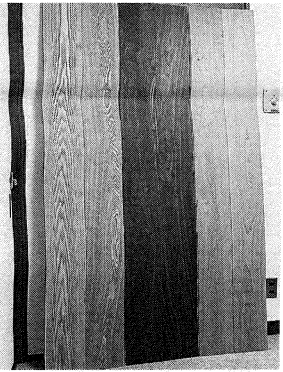
同社は、6月から2ミリ単板の複合フローリングの提供を開始した。

オークの4ミリ単板の既存商品に加え、アッシュ、ブラックウォールナット、ブラックチェリー、メープル、チークを対応樹種として新商品を開発。基本サイズは、厚み15×幅180×長さ1820ミリで、幅広の180ミリ幅で提供する。表面塗装は、UVクリアつや消し塗装で、床暖房にも対応する。アッシュなどの温帯産広葉樹は入手が難しくなっているうえ原木高で、幅広の単板の調達が難しくなっている。そのため、同社は製造工場と打ち合わせ、単板の厚みを2ミリした複合フローリングを新たに誕生させた。

また、ムクフローリングでは、希少樹種の花林のフローリングを開発。サイズは、厚み15×幅75×長さ1818ミリ。表面塗装はウレタンクリア塗装で、床暖房に対応している。

「様々な要望に応え、ムク、複合、3層製品の商品展開で、物件に適した製品供給を続けたい。また欠品を起こさず、顧客の要望に細かく応えて、全国にフローリングの販売を広げていく」（二木社長）。

同社は、8月に創業15年目を迎える。今後も変わらず、日本市場に必要とされる床材を開発、提供していく方針だ。



6月に発売した2ミリ単板の複合フローリング

ている。また、日本市場での細かい対応も行っていく。

西川社長は「当面は、阜新華栄木業の製品を知ってもらうために、関係各所にPRしている。同社の複合フローリングの日本向け供給には歴史があり、その主たる流れを変えず安定供給に努めていく。今後、要望があれば、ナラ、カバのムクフローリングを一般住宅向けに供給することも検討していく」と語る。

同社は当面、建材・フローリング販売店や工事店などへのフローリング販売だけを手掛ける。販売は、全国に対応する。栄董事長は「小笠原フローリングを通じて当社のフローリングを知ってもらうとともに、当社の一番の強みである安定供給に努めていく。今後は継続的に日本の顧客に感謝を込めたキャンペーンや日本の災害への寄付活動などを行っていく」と語る。